

## 平成23年度後期全学教育機構「学生による授業改善アンケート」の結果

評価分析室全学教育機構分室

全学教育機構では、平成23年度後期に中間アンケートを行い、学生の要望を確認し、後半の授業が行われた。本結果は、期末に実施されたものによる。

平成23年度後期期末「学生による授業改善アンケート」は、以下の2とおりの方法により実施された。

- a. 各教員が少なくとも1授業題目について授業中に用紙に記入する。
- b. 全授業題目を対象としてウェブ上で記入する。

アンケートの質問項目は、用紙・ウェブともに以下のとおりである。

### <アンケート質問項目>

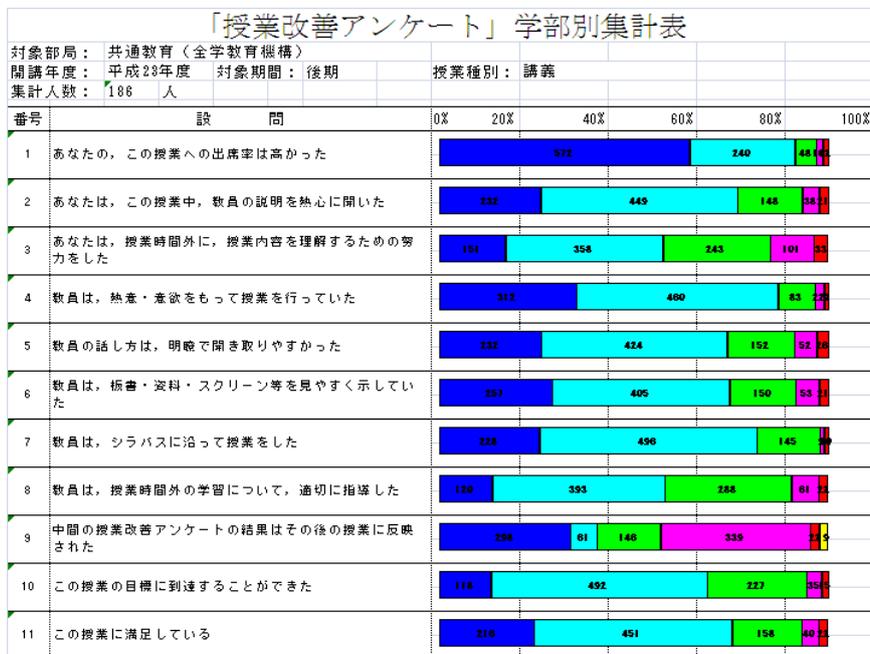
1. あなたの、この授業への出席率は高かった(5択)
2. あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた(5択)
3. あなたは、この授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした(予習・復習等)(5択)
4. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた(5択)
5. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった(5択)
6. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた(5択)
7. 教員は、シラバスに沿って授業をした(5択)
8. 教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した(シラバスでの参考文献の提示等)(5択)
9. 中間の授業改善アンケートの結果はその後の授業に反映された
10. この授業の目標に到達することができた(5択)
11. この授業に満足している(5択)
12. この授業について、改善すべきと思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
13. この授業について、教員が工夫をしていると思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
14. その他、この授業について、意見、要望等がありましたら、書いてください(自由記述)

アンケートの結果は、部門長および評価分析室機構分室員が内容について検討・解析した。以下にウェブ上で寄せられた回答について、科目群ごとにその結果を報告する。

## 1. 全体に関する結果

機構で開講された授業に関するウェブによるアンケートの回答延べ人数は、講義科目186名、演習科目130名、外国語科目486名、実験・実習13名である。そのうち、講義科目・演習科目・外国語科目についての集計結果は、それぞれ図1、図2、図3のとおりである。

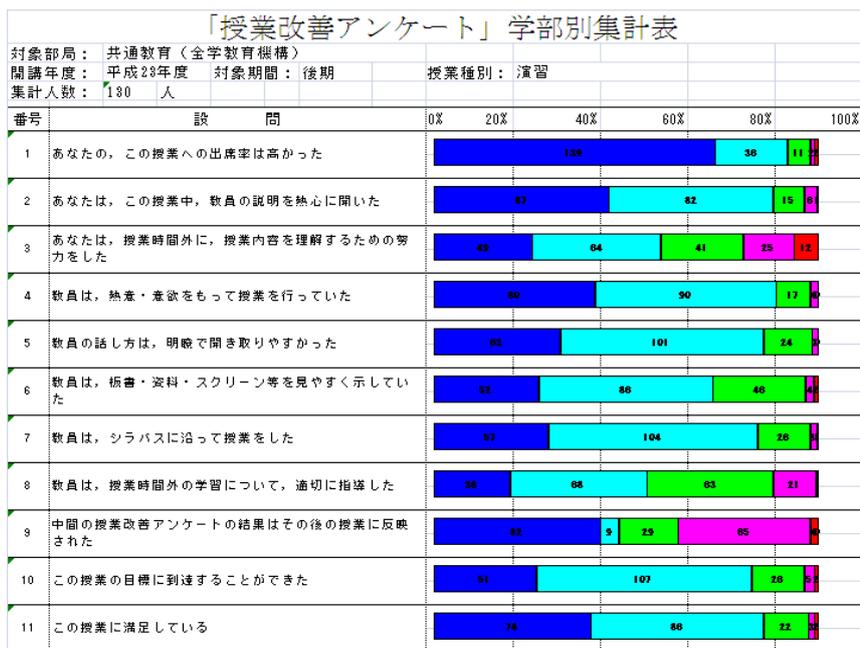
図1【講義科目】



<設問9以外>青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

<設問9のみ>青：中間アンケートなし、水色：強くそう思う、緑：そう思う、ピンク：どちらとも言えない、赤：そう思わない、黄：9全くそう思わない

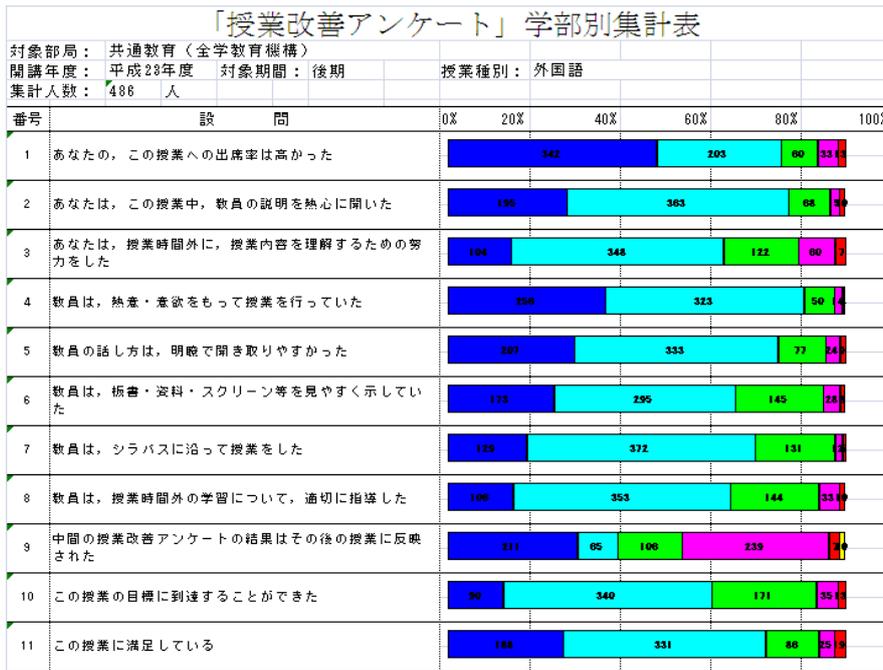
図2【演習科目】



<設問9以外>青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

<設問9のみ>青：中間アンケートなし、水色：強くそう思う、緑：そう思う、ピンク：どちらとも言えない、赤：そう思わない、黄：9全くそう思わない

図3【外国語科目】



<設問9以外>青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない  
 <設問9のみ>青：中間アンケートなし、水色：強くそう思う、緑：そう思う、ピンク：どちらとも言えない、赤：そう思わない、黄：9全くそう思わない

講義科目・演習科目ともに、学生自身に関する評価のうち「出席」は講義科目および演習科目に関して非常に高く、「授業に対する熱心さ」に関してかなり高い。その一方で「学生の予習復習」に関する評価は、やや低調な結果となっている。教員に対する評価については、「教員の熱心さ」、「話し方」、「資料提示」、「シラバスとの整合性」、「授業の満足度」に関してはおおむね良好といえる。「目標への到達」に関する評価は普通であるが、とくに「予習など時間外学習の指導」に関する評価は高くない。

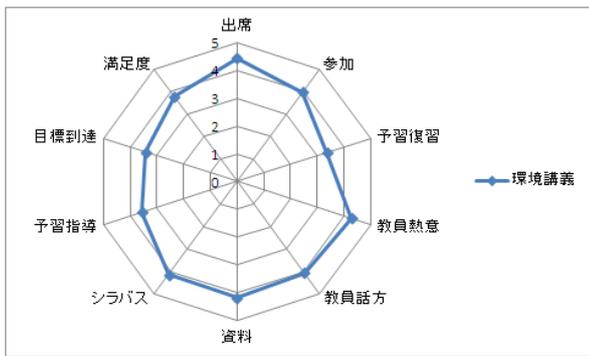
中間アンケートの結果がその後の授業に反映されたかの質問事項に対しては、いずれの科目の授業においても約40%の回答者が肯定的な回答をしている反面、ほぼ同率の否定的な回答が寄せられており、他の質問事項との比較において特異的である。この質問項目は今回新たに追加されたものであり、前期との比較を行うことはできないが、中間アンケートにおいて学生から寄せられた改善要望に対して、丁寧な対応が必要であることを示している。

前期に行った同様の調査結果と比較すると後期もほぼ同様の傾向である。演習科目の目標達成および満足度が高い一方、時間外学習への指示を確実にを行うことが必要である。

## 2. 教養科目

### [環境科目群]

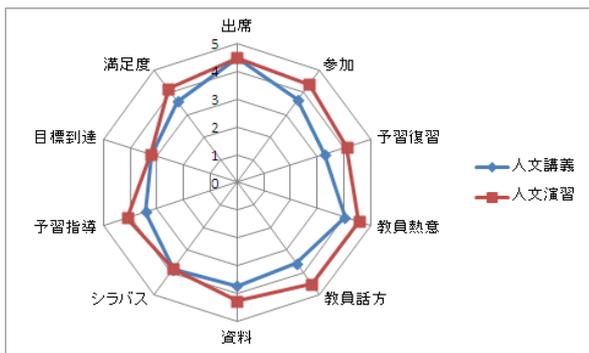
講義科目について、総じて機構平均を上回る結果となっている。とりわけ、「教員の熱意」や「資料提示」の項目で高い評価を得ている。他方で、「学生の予習復習」および「時間外学習への指導」については、全体の平均を下回っている。学生たちの「学び」を深めるために、授業時間外の学習を強化することが重要である。



図の数値は回答を数値化した平均値

### [人文学科目群]

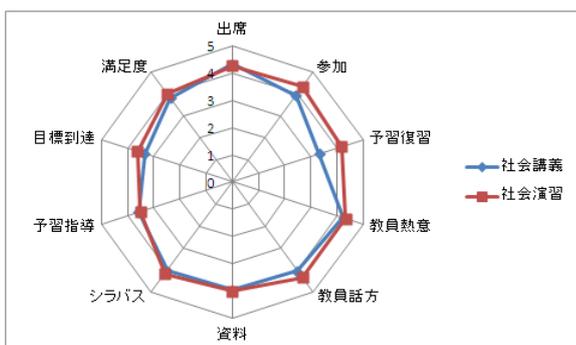
演習科目は総じて機構平均を上回っており、少人数教育による丁寧かつ真摯な指導の成果と指摘できる。とりわけ「教員の熱意」はとくに高い評価といえる。逆に、講義科目については、いずれの項目でも機構平均を下回っており、とりわけ「学生の予習復習」の数値は低調である。この数値は「予習などの指導」の低い結果と関係があるろう。学生たちの「学び」を深めるために、授業時間外の学習を強化することが重要である。



図の数値は回答を数値化した平均値

### [社会科目群]

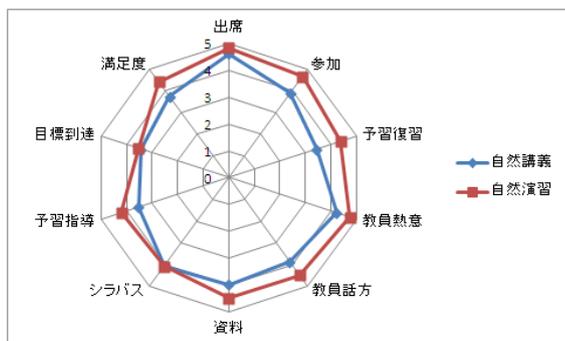
演習科目はいずれの項目でも機構平均を上回る高評価を得ており、少人数教育による丁寧かつ真摯な指導の成果といえる。また、講義科目は、ほぼ機構平均と軌を一にする。ただし、「予習などの指導」の項目については低調といえる。学生たちの「学び」を深めるために、授業時間外の学習を強化することが重要である。



図の数値は回答を数値化した平均値

## [自然科学群]

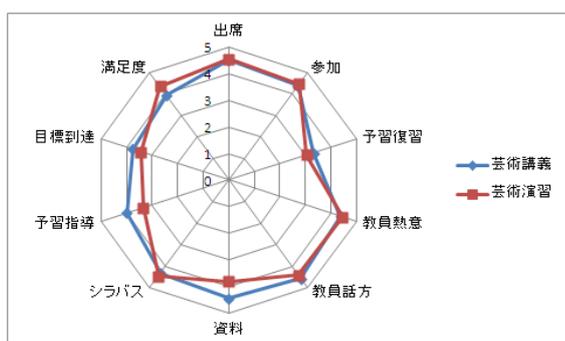
講義科目と演習科目とでは明らかに値が異なっている。講義科目においては「予習などの指導」と「学生の予習復習」に関して十分な値ではない。演習科目においては、ほとんどの項目において講義科目をかなり上回る値となっており、かつ「予習などの指導」と「学生の予習復習」についても評価は高い。少人数教育の効果が十分発揮されているといえる。反面、講義科目が比較の上で値が低いことに関して解析が必要である。



図の数値は回答を数値化した平均値

## [芸術・スポーツ群]

芸術・スポーツ群の講義では、「出席」、「授業の満足度」、「目標への到達」、「予習などの指導」、シラバスについて良好な結果が得られている反面、「学生の予習復習」については低い値となっている。また演習についてもほぼ同様の傾向が見られ、芸術・スポーツ群での講義や演習で、学生はあまり予習をしてこない傾向が見られる。これは、次回までの課題を与えるなどで改善する必要がある。教員の話し方や、熱意については講義、演習ともにより結果が得られている。

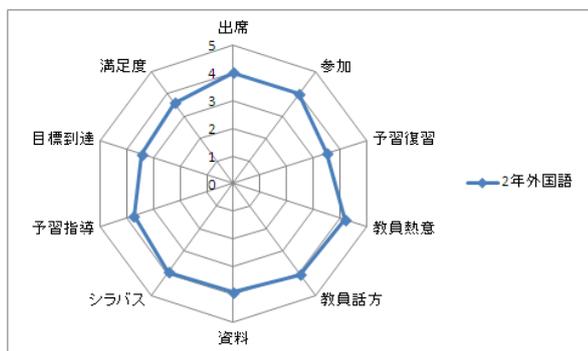
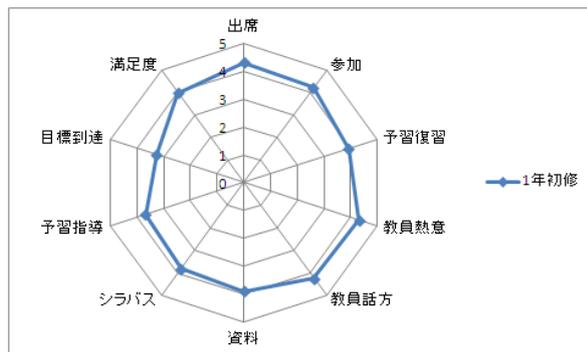
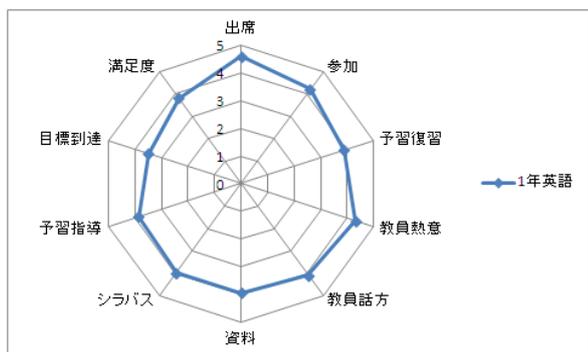


図の数値は回答を数値化した平均値

## 3. 外国語科目

英語 1 年次においては、「参加への熱心さ」の値は高く、「教員の熱意」に対する評価や「教員の話し方」への評価の値も高い。その一方で、「学生の予習復習」や「予習などの指導」に関する数値はやや低い。1 年初修外国語は、「学生の予習復習」、「資料提示」、「シラバスとの整合性」、「予習などの指導」の数値が低い。2 年英語は 1 年初修同様目標達成の値が低い。加えて「学生の予習復習」も低めで「授業の満足度」も高くない。

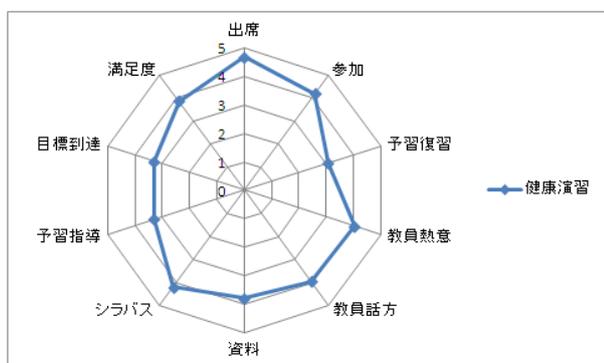
低い値の項目が多いことに関しては、共通教育においては元々授業目標達成感が得難いということがこの数値になっている可能性もあるので、その目標を達成したという実感が持てるようなことを意識してクラス設計をする必要があるだろう。



図の数値は回答を数値化した平均値

#### 4. 健康科学科目

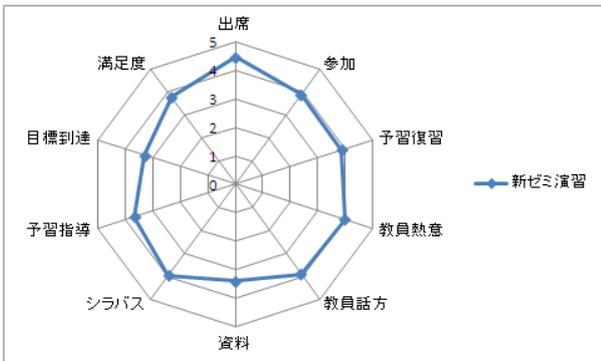
健康科学科目（健康科学理論と実践）においては、「出席」は非常に高く「授業の満足度」も高い。ただ、「目標への達成」や「予習などの指導」および「学生の予習復習」が低い傾向が見られる。これは健康科学理論と実践が、理論7回、実践8回の授業であり、さらに理論の方は1回ごとに教員やテーマが変わるオムニバス形式であることが影響していると思われる。また実践の方は運動中心の内容であるので、予習などが行いにくいのが現状である。



図の数値は回答を数値化した平均値

## 5. 新入生ゼミナール科目

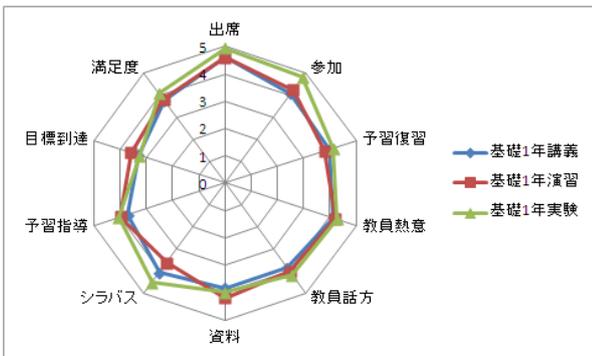
新入生ゼミナールは、「目標への到達」と「資料提示」がやや低い以外はおおむね良好である。新入生ゼミナールは学部・学科によりその形態が異なるため、全体として傾向をつかむのは難しいが、各学部、学科での創意工夫によって結果は大きく異なると考えられる。



図の数値は回答を数値化した平均値

## 6. 基礎科学科目

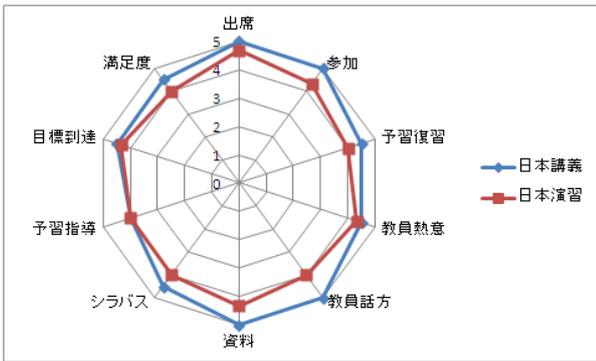
「出席」、「熱心な授業参加」、「学生の予習復習」、「教員の熱意」、「予習などの指導」などは高い値を示している。「教員話し方」、「資料提示」については全講義の平均をやや上回っている。「学生予習復習」、「予習などの指導」は前期からみて改善されている。ただし、「目標への到達」に関する評価は低調である。



図の数値は回答を数値化した平均値

## 7. 日本語・日本事情科目

日本事情を共通教育講義と比較すると、全体的な値の高さが目立つ。とくに「資料提示」および「目標への到達」の値が明らかに高い。日本語・日本事情においては、演習科目よりも講義科目の値が全体的に高く、他の科目と傾向が異なる。いずれも、日本事情と同じく、目標の点が全体よりかなり高い。



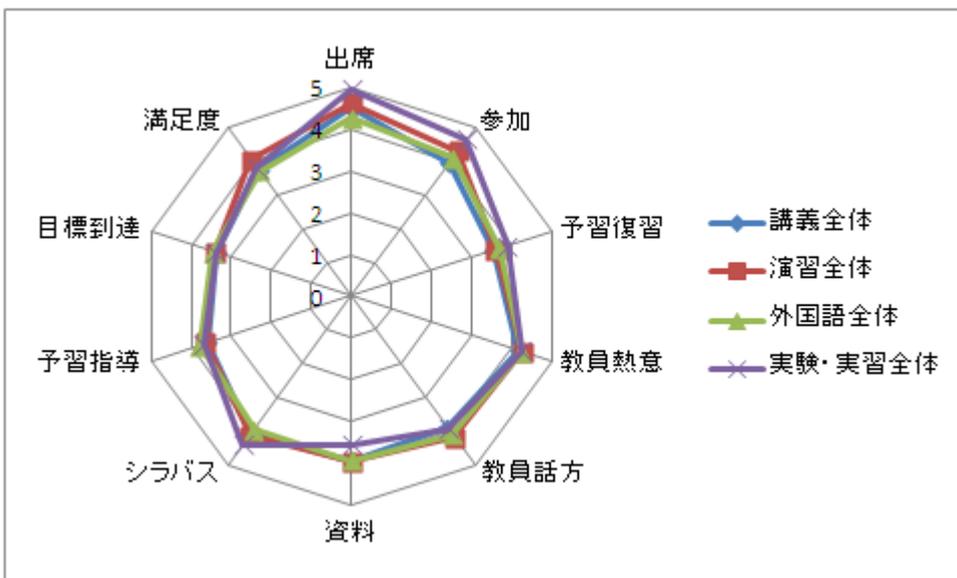
図の数値は回答を数値化した平均値

## 8. まとめ

共通教育科目全体の回答を数値化した平均値が下の図である。学生の自己評価のうち、「出席」および「参加への熱心さ」に対する評価は良好である。「学生の予習・復習」、「予習などの指導」に関する評価は低調であるが、前期と比較すると改善されている。「教員の熱意」、「教員の話し方」に関してはおおむね良好な結果であり、教員の努力がうかがわれる。ただ、「予習などの指導」に関しては、授業の性格を考慮した上で引き続き改善する必要がある。「授業の満足度」はおおむね良好である。「目標への到達」の値が前期と比較して低下しているため、その原因を分析して授業改善を行う必要がある。

今回のウェブをとおして行うアンケートの回答数が、前期に比べて大幅に低下した。アンケートをとおして授業改善を行うことに対する期待感の低下とも受け取られるので、授業中において入力を促すとともに、学生に対して目に見える授業改善と説明が必要である。

共通教育科目全体(図の数値は回答を数値化した平均値)



なお、今回の授業改善アンケートを通じて、次のような改善例が部門から報告された。  
「学生からの指摘を受けて、課題の内容を見直した。」 「アンケート結果に基づいて、来年度授業内容の変更を考えている。」

全学教育機構の各部門では、こうした個々の授業の改善例をもとに、部門全体としての今後の授業改善計画について検討がなされている。

共通教育科目 2011年度後期期末 授業改善アンケート平均値一覧(Webアンケート)

	授業種別名	出席	参加	予習復習	教員熱意	教員話方	資料	シラバス	予習指導	目標到達	満足度
環境	講義	4.4	4.0	3.4	4.3	4.1	4.2	4.1	3.6	3.4	3.8
人文	講義	4.5	3.7	3.3	4.0	3.6	3.7	3.9	3.4	3.2	3.6
	演習	4.5	4.4	4.1	4.6	4.5	4.3	3.9	4.1	3.2	4.2
社会	講義	4.3	3.9	3.3	4.2	4.0	3.9	4.0	3.6	3.3	3.8
	演習	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.0	4.2	3.5	3.6	4.0
自然	講義	4.6	3.9	3.4	4.2	3.9	4.0	4.1	3.5	3.4	3.7
	演習	4.8	4.7	4.4	4.7	4.5	4.5	4.1	4.2	3.5	4.4
芸術	講義	4.5	4.4	3.3	4.4	4.6	4.4	4.3	4.0	3.8	3.9
	演習	4.6	4.5	3.1	4.5	4.4	3.8	4.5	3.4	3.4	4.4
各地教養 (旧カリ科目)	講義	4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	3.0	4.0	3.0	3.0	4.0
1年英語	外国語	4.6	4.2	3.9	4.3	4.1	3.9	4.0	3.9	3.5	3.8
1年初修	外国語	4.3	4.2	3.9	4.3	4.2	3.9	3.8	3.7	3.3	4.0
2年外国語	外国語	4.0	4.0	3.5	4.2	4.1	3.9	3.9	3.7	3.4	3.6
健康科学	演習	4.7	4.2	3.1	4.0	3.9	3.8	4.2	3.3	3.3	3.9
新ゼミ	演習	4.4	3.9	3.9	4.0	3.9	3.4	3.9	3.7	3.3	3.8
日本語	講義	5.0	5.0	4.5	4.5	5.0	5.0	4.5	4.0	4.5	4.5
	演習	4.7	4.3	4.0	4.3	4.0	4.3	4.0	4.0	4.3	4.0
基礎科学1年	講義	4.6	4.0	4.0	4.1	3.8	3.8	4.0	3.7	3.3	3.8
	演習	4.6	4.2	3.8	4.2	4.0	4.2	3.6	4.0	3.6	3.8
	実験・実習	4.9	4.8	4.1	4.3	4.1	4.0	4.5	4.1	3.3	4.1
共通教育科目全体	講義	4.5	3.9	3.6	4.2	3.9	3.9	4.0	3.6	3.4	3.7
	演習	4.6	4.3	3.6	4.3	4.2	4.0	4.1	3.6	3.4	4.0
	外国語	4.3	4.1	3.7	4.3	4.1	3.9	3.9	3.8	3.5	3.7
	実験・実習	5.0	4.7	3.9	4.3	3.9	3.6	4.4	3.7	3.4	3.8